

「SDGs貢献ソリューション」の概要

当社グループは、手のひら静脈認証やRFIDタグ（リネンタグ）、ビーコンなどの先進技術を有したハードとソフトを組み合わせたソリューションを開発・提供し、金融・流通・公共・医療・物流・モビリティなどの市場においてお客様の多種多様なニーズ・期待に応え、金融機関や病院、商業施設など世の中の様々な場面をサポートしています。

「SDGs貢献ソリューション*」は、SDGsで注目される気候変動などの環境問題への貢献のほか、社会・経済の持続可能な発展にも貢献するために当社グループが開発したソリューションです。社内で当ソリューションの適合基準などを運用ガイドラインに定めて制度化し、活動を推進しています。

*SDGs貢献ソリューション紹介ページ：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/environment/sdgs/>

2019年度「SDGs貢献ソリューション」の実績

2019年度は、以下9件の「SDGs貢献ソリューション」を開発・提供することができました。

【2019年度の「SDGs貢献ソリューション」】

項	ソリューション名称	環境改善効果率*
①	金融機関向け 統合ファイリングシステム「不備帳票対応」	-51.2%
②	公営競技場向け 投票システム更新	-43.9%
③	金融機関向け Keyword Capture® 口振パッケージ	-46.1%
④	RFID商品管理システム	-19.9%
⑤	クローンツールHDDによるブート用媒体（DVD）の削減	-62.8%
⑥	金融機関向け「ICカード読取りエラー時の取引続行」システム	-51.0%
⑦	金融機関向け「クラウド環境センタージャーナル集中」システム	-69.1%
⑧	金融機関向け 通帳MS修復	-94.6%
⑨	金融機関向け カードMS修復	-97.9%

*環境改善効果率：

ソリューション導入前後の人・物の移動量、作業工数、機器の消費電力などに由来するCO₂排出量を比較し、導入前を基準に導入後に減少した割合を表す。

「SDGs貢献ソリューション」の事例紹介

RFID商品管理システム

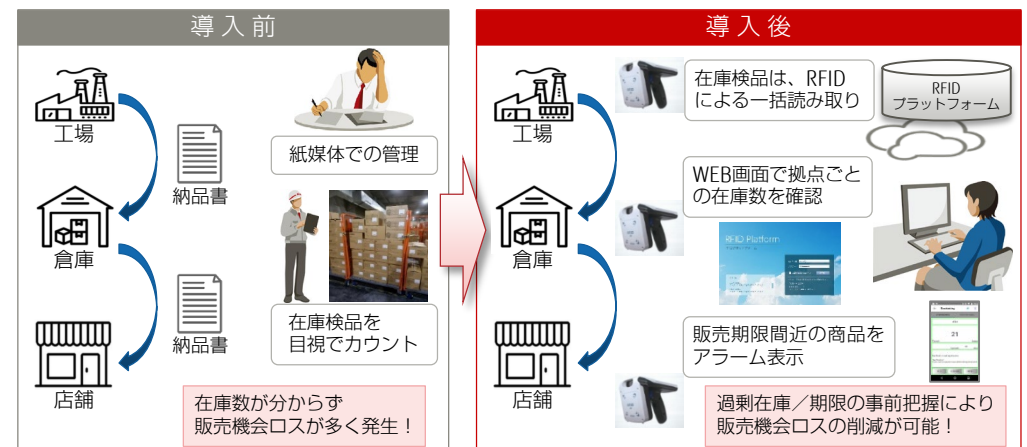
■ システム概要

当システムを導入することで、適正在庫の把握による販売機会ロス削減と作業者の業務効率化を実現します。従来、工場は店舗在庫数がわからず本部から指示のあった量の生産を行っていた結果、倉庫在庫が膨大となり廃棄となってしまう商品が多数ありましたが、当システムでは、工場-倉庫-店舗間のトレーサビリティと、在庫数・販売期限の可視化が可能になりました。

これにより、店舗在庫数に合った量の工場生産・倉庫保管による物流工程の適正化・廃棄ロス/販売機会ロスの削減と、バーコードによる個別検品からRFIDによる一括検品への変更による検品・棚卸作業の業務効率化が図れます。

■ 導入前・導入後のイメージ

- ① 各検品時に商品やカートンについたRFIDタグ（リネンタグ）をリーダーで読み取り、結果をクラウドで一括管理することで、ステークホルダー全員で、現時点で、何が・どこに・いくつあるかを共有でき、過剰在庫の削減が可能です。
- ② RFID読み取り時に販売期限を表示することで、棚卸時に販売期間が迫っている商品の有無を確認することができ、販売機会ロスの削減が可能です。



貢献するSDGsのゴール



貢献する要素

- Goal 9：環境に配慮した技術・産業プロセスの導入。
- Goal 12：過剰在庫を削減し、廃棄物の発生を抑制。
- Goal 13：検品・棚卸作業の時間を削減し、CO₂排出量を抑制。